

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

日本では平成 5 年(1993) 北海道南西沖地震、平成 7 年(1995) 兵庫県南部地震、平成 16 年(2004) 新潟県中越地震、平成 23 年(2011) 東北地方太平洋沖地震とたびたび巨大地震に見舞われ、国民の生命と財産が危機にさらされてきた。これら地震災害から国民を守るため、国家も地方行政も多大な努力を払っている。この地震災害から市民を守る最も有効な方法の一つは、地震予知が実現することであろう。しかし、国民を完全に安心させる地震予知の実現はまだ難しいのが現状である。

設立代表者は 2003 年より相模原市内にて植物生体電位、2011 年より電磁気現象の観測を開始し、現在は「植物生体電位、電磁気現象の変化による地震危険予知の実験」を行っており、既に 11 年が経過し、いくつかの研究成果をあげ、国内・国際学会・研究会等で精力的に発表してきた。

これらの研究成果はインターネットを利用して一般国民・海外の研究者にも情報提供が行われている。このホームページ(jsedip.jp)では植物生体電位、電磁気現象観測データや全国の地震活動などの地震に関する幅広い情報提供を行っている。

現在、植物生体電位、電磁気現象は仙台、千葉県八街市、横浜市、相模原市、厚木市、静岡県函南町、名古屋市、京都市、広島市での観測が行われているが、全国を網羅しているわけではない。今後はインターネットを利用したオンライン収集により、活動を全国規模に拡大する必要がある。また地震前兆観測システムの研究開発や予測実験等により多方式・多点観測が実現できれば、国民にとってより信頼性の高い情報の提供が可能になると考える。さらに研究結果を国民に普及し、理解してもらう活動をする。

私たちは、特定非営利活動促進法に基づく法人格を取得することにより植物生体電位、電磁気現象観測を利用した現在の活動基盤をさらに充実させ、更に大気重力波観測、地殻変動観測等他の方式を加え総合的に地震前兆を観測し、真に国民的な「予知・防災」を実現することを通じて地震防災活動の発展に寄与することを目的として本法人を設立する。

平成 26 年 8 月 31 日

法人の名称 NPO 法人地震前兆総合観測センター

設立代表者 齊藤 好晴